

レジメン名：rituximab 療法 (CLL)

【適応癌腫】 慢性リンパ性白血病

【1 コースの期間】 28 日 【最大コース数】 6 コース

【催吐性リスク】 最小

※初回

RpNo	薬剤名/手技/コメント	1 回投与量 (補正単位)	速度指示	day (1)					
Rp 01	※化学療法 (薬剤部ミキシング) 30分ごとに100ml/hずつup リツキサン点滴静注 生理食塩液 400ml/hまでアップ可	点滴[化療] 開始量: 100mL/h	375 mg/m ² 375 mL/m ²	+00:00					
Rp 02	※化学療法 (薬剤部ミキシング) リツキサン開始前に内服 カロナール錠 200mg 内用 医師の指示通り 1日分 ボララミン錠 2mg	※化学療法内服 2 錠 1 錠		+00:00					

※2 回目以降

RpNo	薬剤名/手技/コメント	1 回投与量 (補正単位)	速度指示	day (1)					
Rp 01	※化学療法 (薬剤部ミキシング) 30分ごとに100ml/hずつup リツキサン点滴静注 生理食塩液 400ml/hまでアップ可	点滴[化療] 開始量: 100mL/h	500 mg/m ² 500 mL/m ²	+00:00					
Rp 02	※化学療法 (薬剤部ミキシング) リツキサン開始前に内服 カロナール錠 200mg 内用 医師の指示通り 1日分 ボララミン錠 2mg	※化学療法内服 2 錠 1 錠		00:00					

【備考】

イブルチニブ、ベネトクラクス、シクロフォスファミド+フルダラビンとの併用で使用。催吐性リスクについては併用する治療薬次第で上昇する可能性あり。

リツキサンの速度に注意、100mL/h で開始し、30分毎に100mL/h ずつ速度を速める。(MAX400mL/h)

B 型肝炎の既往がある患者の場合は定期的に HBV DNA 量の測定を行うこと。また治療終了後 12 ヶ月間まで検査を行うこと。